

アフリカレポート 総目次 (No.11 ~ No.20)

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アフリカレポート
発行年	1995-03
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00008511

アフリカレポート

総目次 (No.11~No.20)

	筆者	ページ		筆者	ページ
●Vol.11(1990年9月)			チャドの政変——軍閥、金庫、 対外援助の力学		
小特集 民主化への胎動？			リベリアの内戦	勝俣 誠	6~9
現代アフリカの政治と民主化 (巻頭言)	小田 英 郎	1	図解：アフリカと日本	原 口 武 彦	10~13
コートジボワールの政治危機	原 口 武 彦	2~6	アビジャンの不良“ヌッシ” (現地通信)	鈴木 裕 之	14~17
ベナン人民共和国の終焉 ——国民結集全国会議を中 心に	勝俣 誠	7~10	複数政党制へ移行したザンビ ア	児玉谷史朗	18~19
ナイジェリア：「二党制」導入 とその展望	望 月 克 哉	11~14	イギリスの反アパルトヘイト 運動と日本	堀江浩一郎	20~24
ガボン：一党制の軌跡と民主 化の動き	落 合 雄 彦	15~18	ナイジェリアの政党の変遷	戸田真紀子	25~28
ザイールにおける政治改革 ——モブツ体制の動揺とそ の原因	武 内 進 一	19~23	アフリカと日本——21世紀の ための学習機会	B・K・アスオン	29~32
マンデラ釈放後の南アフリカ 共和国	林 晃 史	24~27	最近のマラウィにおける労働 移動	小 倉 充 夫	33~36
図解：最近のアフリカ「民主 化」への動き		28~29	無文字社会を読む、あるいは 声の征服	中 村 雄 祐	37~40
文献目録（サハラ以南アフリ カの政治変動）		30~33	北部タンザニア農村調査行 (調査員レポート)	池 野 旬	41~44
セネガル：国土開発整備計画 に参加して	三 島 禎 子	34~37	資料紹介		45~48 49~52
ケニア：野生動物による被害 について	小 林 聡 史	38~41	●Vol.13 (1991年9月)		
西アフリカの印象——サヘル の国ニジェールを中心に (現地通信)	山 口 博 一	42~43	アフリカ国立公園 (African National Parks) (巻頭言)	伊谷純一郎	1
タンザニア生活事始	池 野 旬	44~47	マラウィの構造調整	坂 元 浩 一	2~5
資料紹介		48~52	ケニア穀物公社改革の現状	小島さくら	6~9
●Vol.12 (1991年3月)			ウガンダの構造調整	大 林 稔	10~11
巻頭言	星 昭	1	ナイジェリアの構造変化と農 村変容	島 田 周 平	12~16
ルワンダ内戦の二つの側面 ——難民問題と民主化要求	武 内 進 一	2~5	ゴールドラッシュの後で—— 政治経済的变化とアニュー 人の対応	栗 本 英 世	17~20
			南アフリカ・アフリカ民族会 議(ANC)全国大会	林 晃 史	21~25
			図解：アフリカの難民		26~27

	筆者	ページ		筆者	ページ
どこまでも遠かった村——よ そ者とダンの少年	真島 一郎	28～31	アフリカの地域経済統合再生 の兆し	大林 稔	2～5
マリの政変	原口 武彦	32～34	ガーナ：第四共和制への道のり	高木 桂一	6～10
モザンビーク人難民キャンプ 訪問記	富岡 明子	35～38	アフリカにおける「民主化」 の諸相——コンゴの事例と ザイルとの比較	武内 進一	11～15
タンザニアの食糧危機ふたたび (調査員レポート)	池野 旬	39～42	民主南アフリカ会議	林 晃史	16～19
日本アフリカ学会第28回学術 大会に参加して	高根 務	43～44	アフリカ諸国の統計資料：収 集と蔵書構成		20～21
資料紹介		45～48	二つのアフリカとイスラム—— モーリタニアの事例から	宮治 一雄	22～26
●Vol.14 (1992年3月)			セクー・トゥーレ思想の再検 討——生誕70周年によせて	高林 敏之	27～30
世界のアフリカ化(巻頭言)	山口 昌男	1	調査の戦略と倫理——ケニア のある町より	上田 元	31～34
マダガスカルの不思議な政変劇	千代浦昌道	2～5	教育と出版におけるスワヒリ 語の地位——タンザニアの 場合	竹村 景子	35～38
ザンビア：民主化の風はどこ から吹いてきたのか	小倉 充夫	6～9	南部アフリカ行	原口 武彦	39～44
引き続きザイルの政治的混 乱——暴動の後で	武内 進一	10～13	タンザニア農村調査から (調査員レポート)	池野 旬	45～48
図解：アフリカの政治的民主 化(その2)		14～15	資料紹介		49～52
ケニア政治調査行：1992年1月	津田 みわ	16～20	●Vol.16 (1993年3月)		
ガーナ：民主化への道	高根 務	21～24	アフリカ援助を下から見れば (巻頭言)	日野 舜也	1
コートジボワールの民営化政策	原口 武彦	25～28	アンゴラの政治情勢——民主 化への道程と苦悩	青木 一能	2～5
タンザニアの北パレ山間農村 の変容	吉田 昌夫	29～32	ガーナ第四共和制——複数政 党制下の「一党支配」	高根 務	6～9
ジンバブエの新五カ年経済計 画1991～95年——「ジンバ ブエ：経済改革のための枠 組み(1991～95年)」の紹介	林 晃史	33～36	ソマリア内戦——民族、部族、 氏族	原口 武彦	10～13
セネガルに老人休暇村？	小川 了	37～40	政治化する援助国会合	大林 稔	14～17
ダルエスサラームのゴミ問題 (調査員レポート)	池野 旬	41～44	アフリカの人口動向と人口政策	早瀬 保子	18～22
資料紹介		45～48	都市の中の牧畜民——ナイロ ビのマサイとソマリ	池谷 和信	23～27
●Vol.15 (1992年9月)			ケニア社会の不安	内田 雄一	28～32
アフリカ研究の成熟と退廃 (巻頭言)	米山 俊直	1			

	筆者	ページ
コートジボワールのアチェケ づくり	茨木 透	33~36
アフリカ農業援助からの教訓	細見 眞也	37~40
日米アフリカニスト会議報告	吉田 昌夫	41~44
タンザニアの構造調整政策 (調査員レポート)	池野 旬	45~48
資料紹介		49~52

●Vol.17 (1993年9月)

地球の歴史とアフリカ大陸 (巻頭言)	諏訪 兼位	1
南アフリカ共和国の政治情勢	林 晃史	2~6
1992年ケニア総選挙——複数 政党制回復とKANU	津田 みわ	7~10
ナイジェリア：大統領選挙を めぐる混乱	望月 克哉	11~15
ブルンジ民主化の中のツチと フツ——部族を語ることに ついて	佐藤 章	16~20
独立エリトリアの課題	佐藤 寛	21~24
アフリカ諸国の政治経済動向 と類人猿調査	五百部 裕	25~28
ナイジェリアの環境関連組織	板倉 豊	29~32
ザンビアの民主化と農村開発	高田 浩幸	33~36
ベンバの食用イモムシ採集	杉山 祐子	37~40
構造調整政策とジェンダー (研究動向紹介)	高根 務	41~44
光差す方へ(調査員レポート)	平野 克己	45~48
資料紹介		49~52

●Vol.18 (1994年3月)

アフリカ研究の二つの立場 (巻頭言)	坂本 慶一	1
ポスト構造調整をめぐる ウガンダ：構造調整成功の要 因と今後の課題	池野 旬	2~5
コンゴ：作られた部族抗争	高橋 基樹	6~9
	武内 進一	10~13

	筆者	ページ
ンダダエ暗殺後のブルンジ情勢	佐藤 章	14~17
ヴィクトリア湖岸の水産業	秋本 徹	18~21
マディナ村(マリ)に住んで	村上一枝	22~25
スワジランド研修行	坂井真紀子	26~29
ウガンダ再訪記	吉田 昌夫	30~33
ウフェ・ボワニ大統領の死	原口 武彦	34~37
第2回アフリカ・米・日アフ リカニスト会議	林 晃史	38~40
ターニング・ポイント——南 ア総選挙の展望 (調査員レポート)	平野 克己	41~44
資料紹介		45~48

●Vol.19 (1994年9月)

地域研究概論とアフリカ研究 (巻頭言)	犬飼 一郎	1
冷戦後の国際関係とアフリカ	遠藤 貢	2~5
CFAフランの切り下げとフ ラン圏アフリカの展望	大林 稔	6~9
小特集-1 アフリカの地域 紛争		
和平、そして内戦の再発—— 忘れられたアンゴラ内戦	青木 一能	10~13
ルワンダ：再燃した内戦の中 のツチとフツ	佐藤 章	14~17
アフリカ自然保護活動におけ る保護思想のあり方——日 本の国際貢献に向けての私見	岡安 直比	18~22
コンゴ再訪：動乱の後で	武内 進一	23~26
ナイジェリア：問われるリー ダーシップ	望月 克哉	27~30
小特集-2 南アフリカ		
南アフリカ共和国初の普通選 挙	藤本 義彦	31~34
新国家誕生(調査員レポート)	平野 克己	35~38
アフリカ民族会議 復興開発 計画：一つの政策枠組 (資料紹介)	林 晃史	39~42

	筆者	ページ	紹介資料一覧	
構造調整とアフリカ農業 (国際ワークショップ報告) 資料紹介	高根 務	43~44 45~48	●Vol.11 (1990年9月) 徳永瑞子『エチオピア日記——飢餓救済 キャンプでの150日』 関根良雄『知っておきたいアフリカの歴史』 伊谷純一郎『自然の慈悲』 細見眞也『アフリカの価値観——無文字 社会の伝統思想と日本の教育』 ヘニング・メルバー編『わたしたちのナ ミビア——ナミビアプロジェクトによ る社会科テキスト』 H・マイナー『未開都市トンブクト』 白石頭二・山本富美子編『ティンガティン ガ——アフリカン・ポップアートの世界』 M.M.Huq, <i>The Economy of Ghana: The First 25 Years since Independence</i>	(紹介者) (鈴木陽子) (井村 進) (原口武彦) (丹埜靖子) (児玉谷史朗) (武内進一) (津田みわ) (細見眞也)
●Vol.20 (1995年3月) アフリカ人の自主性はいつこ に (巻頭言) 特集ルワンダ 内戦と相互不信のなかで—— ルワンダ・ブルンジの危う い平和 内戦と民主主義——ルワンダ 人NGOの活動 誰がルワンダに武器を与えた のか?——NGOによる調 査資料から ルワンダ難民支援と自衛隊派遣 コートジボワール、セネガル 調査行——旅をして何が見 えたか 焦土からの復活に向けて—— マダガスカル自然破壊 アフリカ教育問題シンポジウム 南部アフリカ研究の現状—— <i>Journal of Southern African Studies</i> 創刊20周年 記念学会に参加して 新生南アフリカの対外経済関 係 (調査員レポート) 資料紹介 『アフリカレポート』総目次 (No.11~No.20)	吉田昌夫	1 2~5 6~9 10~15 16~19 20~23 24~26 27~30 31~34 35~38 39~42 43~48	●Vol.12 (1991年3月) スティーブ・ピコ『俺は書きたいことを 書く——黒人意識運動の思想——』 和田正平編『アフリカ民族技術の伝統と 変容: 国立民族学博物館研究報告別冊 12号』 ファティマ・ミーア『ネルソン・マンデ ラ伝——こぶしは希望より高く』 国際農林業協力協会『熱帯アフリカの土 壌資源』 大阪外国語大学アラビア・アフリカ語学 科スワヒリ語研究室『スワヒリ&アフ リカ研究 第1号』 板垣真理子『おいでよアフリカ』 丹埜靖子編『(文献解題) ケニアの教育 ——文献からのアプローチ——』 ●Vol.13 (1991年9月) 末原達郎『熱帯アフリカの食糧生産』	(林 晃史) (原口武彦) (鈴木陽子) (武内進一) (児玉谷史朗) (津田みわ) (細見眞也) (武内進一)

- ジェームス・ブルース『ナイル探検——
17・18世紀大旅行記叢書10』 (鈴木陽子)
ステファン・ライト、ジャニス・N・ブラウン
フット編『変貌するアフリカ——政治経済
システムの自立と国際関係——』 (丹埜靖子)
ユベール・デシャン『マダガスカル』, 山
口洋一『マダガスカル——アフリカに
一番近いアジアの国——』 (林 晃史)
岡倉登志『「野蠻」の発見——西洋近代
の見たアフリカ——』 (井村 進)
秋葉幹人『アフリカ』 (細見眞也)
椎名誠『あやしい探検隊アフリカ乱入』 (津田みわ)

●Vol.14 (1992年3月)

- 田中二郎・掛谷誠編『ヒトの自然誌』 (高根 務)
バトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (細見眞也)
林 晃史編『アフリカの歴史——アフリ
カの21世紀 第1巻』, 日野舜也編『ア
フリカの文化と社会——アフリカの21
世紀 第2巻』, 小田英郎編『アフリカ
の政治と国際関係——アフリカの21世
紀 第3巻』 (高根 務)
R・サンドブルック『アフリカ経済危機
の政治分析』 (林 晃史)
バトリック・マーンハム『深く、アフリカへ』 (鈴木陽子)
勝俣 誠『現代アフリカ入門』 (井村 進)
聖心女子大学キリスト教文化研究所編
『アフリカとの対話——宗教文明叢書2』 (丹埜靖子)
松園万亀雄『グシイ——ケニア農民のく
らしと倫理』 (津田みわ)

●Vol.15 (1992年9月)

- 室井義雄『連合アフリカ会社の歴史
1879—1979年——ナイジェリア社会経
済史序説』 (武内進一)
島田周平『地域間対立の地域構造——ナ
イジェリアの地域問題——』 (丹埜靖子)

- 川田順造『西の風・南の風——文明論の
組みかえのために』 (細見眞也)
森 淳『アフリカの陶工たち』 (高根 務)
中林伸浩『国家を生きる社会——西ケニ
ア・イスハの氏族』 (津田みわ)
マンデラ歓迎日本委員会編『ポスト・ア
パルトヘイト』 (鈴木陽子)
川端正久・佐々木建編『南部アフリカ
——ポスト・アパルトヘイトと日本』 (林 晃史)
アジア経済研究所『発展途上地域地図目
録 第2巻 アフリカ地域編』 (井村 進)

●Vol.16 (1993年3月)

- 野町和嘉『地球へ! RIFT VALLEY
ODYSSEY』 (津田みわ)
ライアル・ワトソン『わが心のアフリカ』 (鈴木陽子)
バトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (高根 務)
W・E・B・デュボイス『黒人のたましい』 (林 晃史)
中嶋鴻明『ジンバブエの風はどちら向き』 (林 晃史)
大賀敏子『心にしみるケニア』 (丹埜靖子)
石川薫『アフリカの火——コンゴの森ザ
イールの川』 (井村 進)
山田一廣『知っておきたいエチオピアの
実像——アフリカ最古の国の素顔』 (細見眞也)

●Vol.17 (1993年9月)

- 川田順造『サバンナの王国』 (佐藤 章)
佐藤 俊『レンディーレ——北ケニアの
ラクダ遊牧民』 (丹埜靖子)
森 明雄『カメルーンの森の語り部』 (鈴木陽子)
梶 茂樹『(ことばを訪ねて) アフリカを
フィールドワークする』 (池野 旬)
荒木美奈子『女たちの大地——開発援助
フィールドノート』 (高根 務)
青木澄夫『アフリカに渡った日本人』 (望月克哉)
P・ピアード『ジ・エンド・オブ・ザ・ゲーム』 (津田みわ)
ネルソン・マンデラ『闘いはわが人生』 (林 晃史)

●Vol.18 (1994年3月)

岡倉登志・北川勝彦『日本・アフリカ交
流史——明治期から第二次世界大戦期
まで』

(林 晃史)

勝俣 誠『アフリカは本当に貧しいのか』

(細見眞也)

赤阪 賢・日野舜也・宮本正興編

『アフリカ研究——人・ことば・文化』

(池野 旬)

吉田昌夫・小林弘一・古沢紘造編『よみ
がえるアフリカ』

(丹埜靖子)

嶋田義仁『異次元交換の政治人類学』

(原口武彦)

ムトニ・リキマニ『ケニアの女の物語』

(望月克哉)

アンヌ・ユゴン『アフリカ大陸探検史』

(津田みわ)

カマンテ・ガトゥラ『闇への憧れ——も
うひとつの「アフリカの日々」』

(佐藤 章)

●Vol.19 (1994年9月)

コリン・ターンプル『豚と聖霊——ライ
フ・サイクルの人類学』

(池野 旬)

森 康成『アフリカ生活誌』

(鈴木陽子)

オスマン・サンコン『サンコン少年のあ
ふりか物語』

(津田みわ)

ジェフリー・ハワード『サハラ砂漠縦断
記』, 野町和嘉『サハラ縦走』

(井村 進)

川端正久・佐藤 誠編『新生南アフリカ
と日本』

(林 晃史)

楠瀬佳子『南アフリカを読む——文学・
女性・社会』

(細見眞也)

トニ・モリスン『白さと想像力——アメ
リカ文学の黒人像』

(佐藤 章)

土屋 哲『現代アフリカ文学案内』

(丹埜靖子)

●Vol.20 (1995年3月)

『変わりゆく南部アフリカと日本の経済
協力——課題と提言〈Forum (国際開
発センター)No.14特集号〉』

(林 晃史)

サンガ・N・カザディ『キルウェ ザ・
ハンター』

(児玉由佳)

佐藤真佐美『山梨学院大学箱根駅伝物語』

(丹埜靖子)

服部伸六『アフリカ歴史人物風土記』

(佐藤 章)

立石俊一『日本人とアフリカ人』

(高根 務)

『明治大学図書館所蔵「アフリカ文庫」目
録』

(鈴木陽子)

A・カブラル協会編『アミルカル=カブ
ラル 抵抗と創造——ギニアビサウと
カボベルデの独立闘争』

(武内進一)

和田正平『裸体人類学——裸族からみた
西欧文化』

(細見眞也)